とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	2761416
園名	ルーテル羽村幼稚園

1、活動のテーマ

＜テーマ＞

音

＜テーマの設定理由＞

音を題材に「この音は何だろう？」「この音はなんでなるんだろう」という問いをもとに、楽器などを使い、友だちと楽しみながら、音が鳴る仕組みを考えたり、音の振動を感じる経験をする。

2，＜活動スケジュール＞

１１月～２月にかけて４回（後半は日々の生活の中で随時行う）

3，探究活動の実践

＜活動の内容＞

1）様々な楽器の音を楽しみ、その後音を言葉で表すとどういう言葉になるか・その楽器はなぜ音か 音が鳴るのか・同じ楽器の中で音の高低があるのはなぜか等を考えてみる。

2）弦楽四重奏の演奏を聴きその後楽器（バイオリン,ビオラ、チェロ）の楽器を近くで見ながら、演奏者から音が鳴る仕組み等の話を聞き、その後子どもたちが楽器についての疑問を問いかけをする。

3）身近にある楽器（各部屋にあるピアノ）の音のなる仕組みを見て考えてみる。
自分たちが使ったことのある楽器（小太鼓・中太鼓）をもう一度音のなる仕組みを考えてみる
身近にあるもの（コップ）を利用して音の変化を考えてみる
保育室内にある音の鳴るものを探してみる

4）今までに見たり触れてみた楽器を振り返り、音の鳴る仕組み等を確認し、自分たちでも作れるか考えてみる。作るために必要な物を考え、それぞれで材料を探してみる。

5）自分で考えた楽器を作り、またお友だちの作った楽器を見たり、音を聞くことで新たな発見をする。

6）作った楽器を展示し、保護者にも見てもらう。



色んな楽器に触れよう！



「なんで音の高さが違うの？」



「ピアノはどうやって音がでるの？」



「太鼓にスナッピーをつけたら音が変わった」



「コップの水の量を変えると音が変わった」



「演奏者から音についてお話を聞き
たくさん質問をしてみた」



「楽器を作ってみよう」



「作った楽器を見せ合いっこ」

4，振り返り

子どもたちは楽器を見たり、触れてみたり、また、実際に演奏者の話を聞くことから、楽器の表面にはなぜ穴が開いているのか・その穴がなぜそこにあるのか・なんでその形なのか・等様々な疑問が出てき、音の鳴る仕組み等に興味関心を示し、活動の後は、「つくってみたい」と材料を探す姿があった。
実際に楽器を作ることで、容器の中に入れるものの大きさ等を変えると、容器を振った時に音の性質が変わる事、又その性質を「優しい音」「かたい音」等と表現にも工夫がみられ、それを友だちと話しながらつくっている姿に、子どもたちが自然とたくさんのことを学んでいること、そして興味を持った分だけ学びもたくさんあることを感じた。
全活動を通して、子どもたちが興味をもって活動に参加している時の真剣な目・楽しそうな笑顔が印象的だった。また、何かを発見した時・気づいたときの驚く顔や嬉しそうな表情、また友だちとの会話から、あらためて子ども自身が興味をもって取り組むことの大切さや、興味関心をもてる活動を経験させる機会を作る事の大切さを感じた。